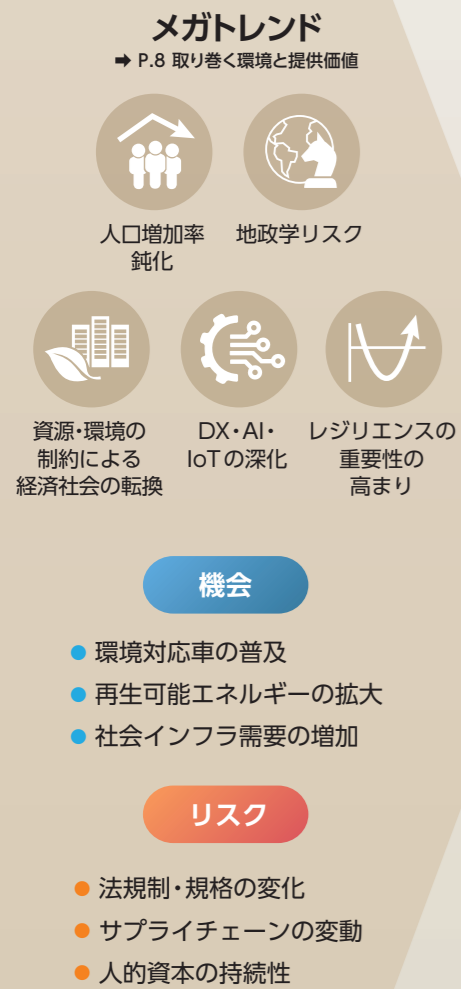


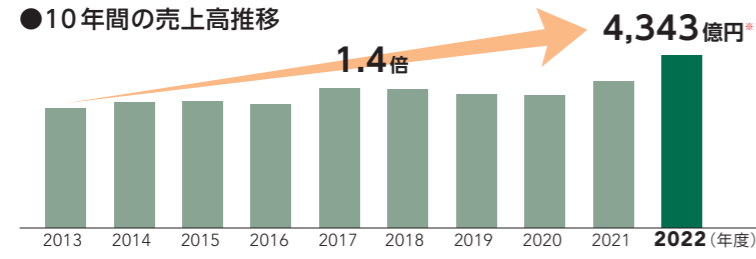
価値創造プロセス



価値創造の源泉

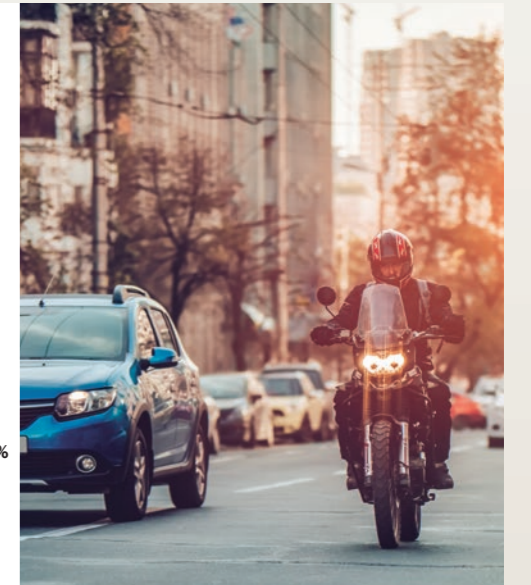
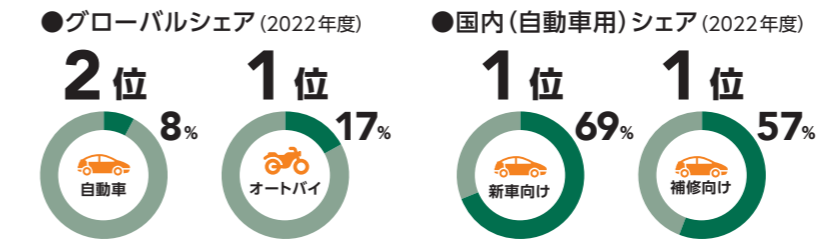
1 鉛蓄電池事業による安定した財務基盤

始動用鉛蓄電池は当社グループの財務基盤を支えています。新車向けに加えて、車両の整備・点検時を中心に発生する補修向け需要による継続的な収益が得られ、社会インフラを支えているバックアップ用電池電源装置やフォークリフト用の鉛蓄電池においても安定した収益を獲得できます。



4 パートナーシップが支えるブランド力と高い競争力

当社グループの鉛蓄電池は、自動車用・オートバイ用の両市場で高いシェアを維持しています。鉛蓄電池は電動車を含む自動車1台に一つ搭載されているため、今後も鉛蓄電池の需要は維持されると考えています。また、バックアップ用・フォークリフト用については国内トップシェアを維持しています。



2 市場のニーズに応じ、信頼性の高い生産・販売・保守ネットワーク

グローバル拠点網を構築し、地域ごとのニーズに合わせた提案を実施しています。自動車電池事業では、日本全国4,000カ所以上の取扱店でユーザーのみならず最適なバッテリーを提案しています。産業電池電源事業では日本全国100カ所以上のサービス拠点で保守・点検までのサービスを行うことが強みです。

●グローバル拠点数 (2023年7月時点)

19カ国 37拠点

●産業電池電源事業の国内サービス拠点

100カ所以上

●自動車電池事業(国内)における取扱店

4,000カ所以上



5 企業理念を共にし、常に革新と成長を続ける従業員

グループ一体となった経営を推進し、発明家精神・チャレンジ精神を受け継いで「革新と成長」を日々実践しています。「ものづくりエキスパート」教育研修会や改善チーム活動の事例発表会を開催しています。また、各部門が専用データベースにテーマを登録し、日々改善活動を推進しており、活動の見える化・活性化に繋がっています。このように当社グループでは、さまざまな活動を通じてものづくりの技術を維持・伝承しています。

●連結従業員数 (2023年3月現在)

14,317名

●改善活動の活動テーマ登録数 (2022年度)

759件



3 事業を支える高度な技術開発力

世界初の量産型EVやHEVにリチウムイオン電池を供給して以来、車載用リチウムイオン電池の先駆的メーカーとして、最先端の技術・製品開発に注力し、多くの日系自動車メーカーの車種に採用されてきました。またBEV用・ESS用の「高容量・高出力なリチウムイオン電池」の開発を進めているほか、「サステナブル」と「高エネルギー密度」をテーマに次世代電池の研究開発・実用化にも注力しています。

●本田技研工業(株)

優良感謝賞

「原価部門」※2

「デリバリー部門」※2

ダブル受賞(2023年)

※2 (株)ブルーエナジーが受賞

●トヨタ自動車(株)

「技術開発賞」※3

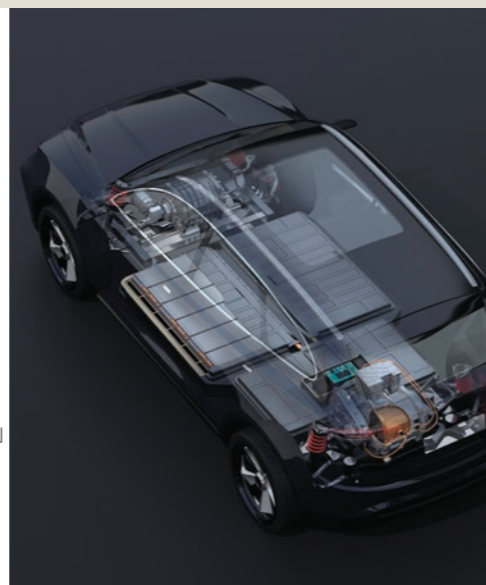
受賞(2021年)

(ハイブリッド車用リチウムイオン電池「EHW4S」)

※3 (株)GSユアサと(株)ブルーエナジーが共同受賞



トヨタ自動車(株)「ハリアー」



6 企業理念が浸透しサステナビリティを目標とする企業風土

従来定めていた「経営ビジョン・経営方針」を見直し、2023年4月、新たに「サステナビリティ経営方針」を策定しました。サステナビリティを意識した事業活動を根付かせ、コンプライアンス意識を浸透させることを目的に、2018年度からは、CSR方針に関連するテーマを取り上げたサステナビリティ職場ミーティングを実施しています。

●サステナビリティ職場ミーティングの実施率 (2022年度)

100%

●サステナビリティ職場ミーティングが有意義であると感じた職場の割合 (2022年度)

96%

対象範囲 GSユアサの全職場:363職場/国内グループ会社:22社

